

SKY コーナー

「関西ブロックSKYフォーラム2021」開催 ～「きっちり工事運動」の向上を目指して～

情報通信エンジニアリング協会 関西支部

はじめに

2021年10月28日、関西支部による「関西ブロックSKYフォーラム2021」が各拠点ビルを結び、大会初の完全リモートで開催されました。本フォーラムは会員各社が日常業務の中で安全性・効率性を目指し積極的に実施している「SKY運動」の成果を発表し、啓発・水平展開を図ることを目的としています。

開催にあたり、情報通信エンジニアリング協会 遠竹関西支部長（写真1）より、『昨年リモートで開催しましたが、今年は各拠点から完全リモートでの開催ということになりました。本日は関西圏通建5社とNTTフィールドテクノ様の活動発表が6テーマございます。発表を通じて皆さんと一緒に安全とKAIZENの思いを共有したいと思います。』

この「SKY活動」は、昭和58年

6月に大阪での死亡事故を教訓に、昭和63年に第1回目のSKYフォーラムを開催しております。ご存じのようにSKY活動は（S）が創造、（K）が改善、（Y）が躍進でSKYフォーラムとなり、この活動の発表会の場でございます。今回の発表はDX関連のテーマであったり、NTTフィールドテクノ様からは女性活躍のテーマとお聞きしております。そういう意味で、我々の改善活動に加えて1つのDXや世の中全体にグリーン成長戦略やESGが企業自体に求められております。聴講いただいている皆様はぜひこの発表を各職場に持ち帰り水平展開することも大きな取組みのテーマでもありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。』との挨拶がありました。

続いてNTT西日本 関西支店 杉谷設備部長様（写真2：リモート接続）より『本日は関西ブロックSKYフォーラム2021が開催されることにお慶び申し上げますとともに、

お招きいただきまして誠にありがとうございます。また平素より弊社の事業に多大なるご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、今年度、下期が既にスタートしているところでございますが、上期を振り返りますと5月に東西共同利用システム導入に際し、トラブルにより皆様に多大なご迷惑、ご苦勞をおかけしました。トラブルに対しましては緊急対応、さまざまなメンテを対応いただきまして本当にありがとうございました。現時点においても長期滞留オーダー、並びに工事等まだまだこれから解消に向けて取り組んでいるところでございますが、皆様のお力添えをいただきたいと思ひますので引き続きご協力賜りますようよろしくお願ひいたします。また7月にも弊社の組織見直し、並びにサービス総合工事のエリア見直し、併せて保守協業のエリア見直し等将来に向けての見直しが行われました。スタートしていろいろな課題があり概ね整理ができてきているとは感じますが、細かなところではまだまだ整理が必要などころもございまして、引き続きご協力をお願ひしたいと思います。

将来という点では5Gの本格展開やNTT西日本本社ビル跡地の再開発、さらには夢洲での万博開催、大阪・和歌山でのIRとさまざまなプ



写真1 ITEA関西支部
遠竹支部長 開会挨拶



写真2 NTT西日本 関西支店
杉谷設備部長様 来賓ご挨拶

プロジェクトが控えております。通信建設会社様並びに関係会社様と一緒に成功させていただきたいと思っておりますので、ぜひともよろしくお願いたします。これらの成功に向けては皆様の健康と安全が第一だと思っています。健康につきましては、コロナ禍という面では最近緊急事態宣言が解けておりますが、第6波が懸念されておりますので、引き続き感染防止に向けた取組みのご協力をお願いしたいと思っております。安全につきましては、悲しいことではございますが、今年度も工事での死亡事故が発生しております。先ほど遠竹支部長からありましたようにSKY活動が大阪での死亡事故としてスタートしたというお話をされておりましたが、本日は安全をはじめとした各種改善またはDX等に関する取組みが発表されますので、ぜひとも聞かせていただき、我々も持ち帰り参考にさせていただきますと思っています。最後になりますがSKYフォーラムを通じて情報通信エンジニアリング協会様、また通信建設会社様の益々の発展を祈

念いたします。』とのご挨拶をいただいた後、本フォーラムが開会されました。

SKY提案表彰

表1の評価基準に基づき、年間最も評価ポイントを獲得した会社に対して「年間提案優良会社表彰」を行いました。集計結果により、評価件数が23.5ポイント（①提案件数：14件、②回答・評価：9.5ポイント）の(株)ミライト・テクノロジーズが表彰され、遠竹支部長より感謝状と記念品が授与されました（写真3）。

安全運動表彰

当支部安全パトロールにおいて、安全の鉄則を遵守するとともに、安全に対する取組活動が他の模範となり、極めて優れているとしてミライト所属の(株)新明通信 吉岡 学班に遠竹支部長より表彰状と記念品が授与されました（写真4）。

SKY提案発表

各社でのSKY活動として最も優秀であったものについて、1テーマ選出し発表を行うとともに、NTT西日本グループ様代表としてNTTフィールドテクノ 大阪設備部様より発表を行っていただきました（写真5～8・表2）。

発表内容は、『女性故障修理者の活躍フィールドの更なる拡大に向けて』というテーマで発表されました。

テーマ選定は、現場作業で活躍する女性社員が徐々に増えている中で、「女性修理者の故障修理業務」において、防犯面や業務内容に関する悩みの意見があったことから取組みを開始されました。対策の実施内容は、防犯ツール・合言葉の利用を含んだ運用フローを作成し、SHINING活動を通じて全支店への展開を図る。ツールとしては短期的にはALSOKサービスの「まもるっく」、長期的にはトライアル導入の「ヒアラブルデバイス」を採用した。今後の課題としては、全故障修理者がより安全に作業できるよう「危険な状況となりうる場合の対処」、「人的危害回避の仕組み」についての整理が必要であるとの内容でした。

その他の発表につきましても、NWカメラの活用や各種工具等の開発・改良等、動画の紹介事例も多く、

表1 2020年度各社別評価件数 (単位：ポイント)

ミライト・テクノロジーズ	協和エクシオ	日本電通	ミライト	日本コムシス	合計
23.5	4.2	1.1	1.1	4.1	30.2

【算出方法】

- ① 2020年4月から2021年3月末までの提案件数
- ② 2021年9月末（今回）までのNTT西日本様による回答・評価ポイント



写真3 SKY表彰
(株)ミライト・テクノロジーズ



写真4 安全表彰
(株)新明通信 吉岡 学班

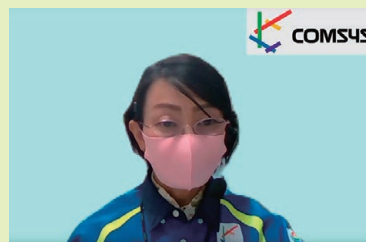


写真5 司会
日本コムシス(株) 野村 美智子氏

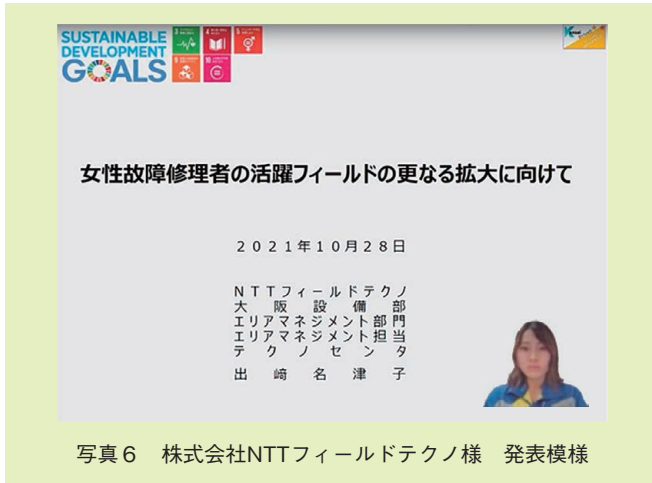


写真6 株式会社NTTフィールドテクノ様 発表模様

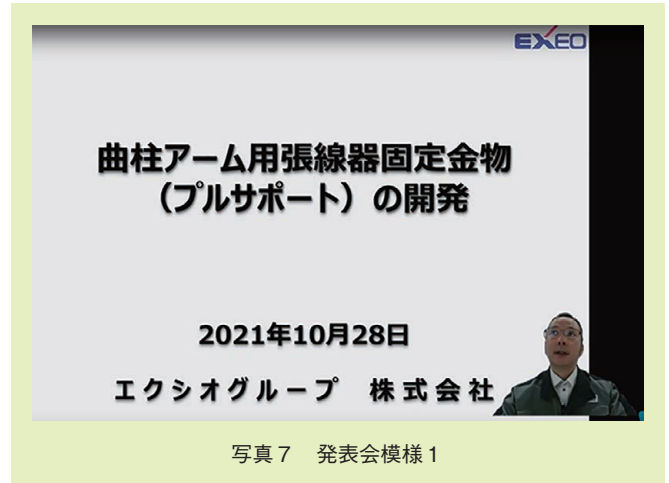


写真7 発表会模様1

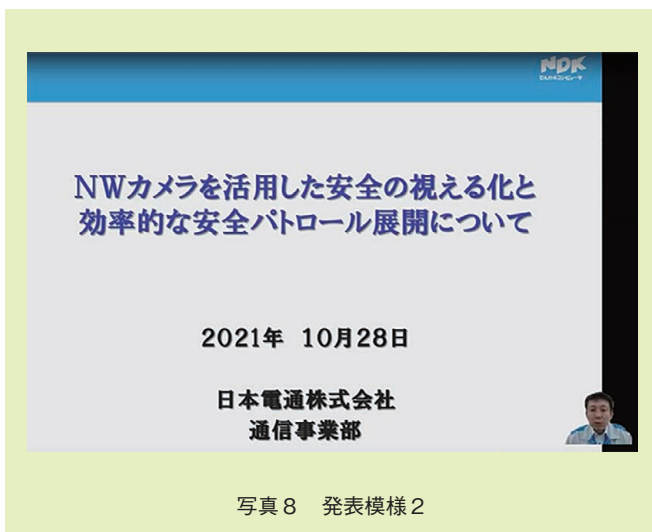


写真8 発表模様2



写真9 遠竹支部長と発表者の皆様

表2 発表テーマ一覧

発表テーマ	発表会社名	発表者
★『高速PDCAの実践 (NW系切替工事<交換機更改>の改善)』	日本コムシス株式会社	原田 章平
★『NWカメラを活用した安全の視える化と効率的な安全パトロール展開について』	日本電通株式会社	一瀬 晶
★『曲柱アーム用張線器固定金物 (プルサポート) の開発』	エクシオグループ株式会社	麻原 浩志
★『リモートサポート体制強化による業務の効率化』	株式会社ミライト・テクノロジーズ	宮脇 寛太
★『建設DXに向けた取り組みについて』	株式会社ミライト	安達 隆博
★『女性故障修理者の活躍フィールドの更なる拡大に向けて』	株式会社NTTフィールドテクノ 大阪設備部	出崎 名津子

素晴らしい内容で施策の水平展開や今後の積極的なSKY活動への刺激にもなりました。

おわりに

発表終了後、遠竹支部長より各社の発表者に記念品が贈呈され (写真

9)、日本電通(株) 岡田 祐来リーダーの発声で関西支部の安全スローガン「先ず安全 工夫を活かそう 知恵と技 ヨシ!!」を全員で唱和 (写真10) した後、主催者を代表してITEA 山下常務より『2021年度の関西ブロックSKYフォーラムもリモート開催となりましたが多くの方

にご参加いただき感謝申し上げます。また、NTT西日本グループの皆様、関西エリアの通信建設会社の皆様、そして運営するスタッフの皆様のご協力によって無事開催することができました。改めて皆様に厚く御礼申し上げます。

先輩から脈々と引き継がれてきた

SKY活動ですが、この1年間も多くの提案をいただきました。また、最優秀安全作業班として受賞されました(株)新明通信の吉岡班の皆様、おめでとうございます。本日のSKY提案で発表されたいずれの取組みもできることではなく、やらなければならないことに果敢にチャレンジしていただいて知恵と創意工夫で具体的なアクションを講じていただきました。

どれも素晴らしい取組みだったと思います。国内では少子高齢化が深刻で労働力不足に見舞われることが想定されています。一方で新型コロナウイルス感染症の影響でデジタル化やリモートワークが加速度的に増加しています。オンサイト業務の負担軽減や作業環境改善、バックヤードのデジタル化・DX化、このようなことに早期に取り組み、品質と安全を担保しながら、業務推進できるよう既存業務に磨きをかけ、持続可能な業

務運営体制を確立していきたいと考えています。その成果として若者たちにとって『働きたい、働き続けたい』と思われるような環境を作り、通信建設業界の魅力度向上につながっていければと思います。

最後になりますが、西日本エリアでは今年度に入り残念ながら2件の死亡事故を発生させるなど工事保守において多くの人身事故が発生しています。二度とこのような事故を発生させないため、JV会社そして構成会社では安全教育や啓発活動、ICTを活用したハード対策などを効果的に実施していただき、現地とバックヤードが密に連携する施策に取り組んでいただいております。

危険を感じたら手を止め、相談することで事故を未然に防ぎたいと考えていますのでよろしくお願い致します。』との挨拶があり閉会しました(写真11)。今回の大会は、リモート接続により約230カ所からの参加

で無事終了することができました(表3)。

視聴者アンケートでは、今回の完全リモート開催に対し「ALLリモートでも特に問題なく実施できていたので、今後は、主流になってくるとの感想を持ちました」「自分のタイミングで閲覧でき効率的であった」との多くのコメントをいただきました。また「カメラの切り替え等がよりスムーズになるとさらに良くなる」とのご意見もいただいておりますので、今後の新たなスタイル開催に向けての検討をしていくことといたします。

大変お忙しい中、本大会にご臨席いただきましたご来賓・NTTグループの皆様にご挨拶申し上げますとともに、大会の諸準備、運営にご協力いただきました関係各位に対して心から厚く御礼申し上げます。

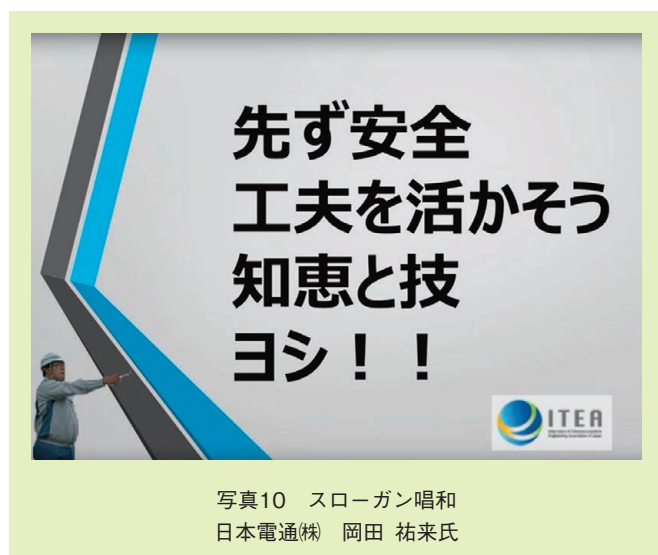


表3 大会概要

大会日時	2021年10月28日 9:30~11:45	
開催場所	各拠点リモート接続	
参加者 (リモート接続)	・NTTグループ各社様 ・通建各社(グループ会社含む)	約230カ所